

平成30年度
「町民と議員との懇談会」

【実施報告書】

平成31年3月

～分かりやすく町民が参画する議会～

福島町議会

平成30年度「町民と議員との懇談会」

1 議会報告会資料について

平成31年2月発行 議会だより第120号

2 班体制について

A班	平沼・杉村・平野（谷藤・平野）
B班	川村・花田・溝部（鍋谷）
C班	熊野・木村・佐藤（阿部）

3 日程について

開催日	町内会	会場	班
2月4日(月)	日向1・2・3	日向生活館	A
	吉田町・館古	役場1階(機能回復室)	B
	月崎1	浜中母と子の家	C
2月5日(火)	松浦・吉野	松浦生活館	A
	館崎1・2・3	吉岡総合センター	B
	豊浜・宮歌	宮歌・豊浜町内会館	C
2月6日(水)	吉岡1・2・3	吉岡総合センター	A
	白符	白符ふれあいセンター	B
	上町・本町・川原町	役場1階(機能回復室)	C
2月8日(金)	月崎2	月崎母と子の家	A
	丸山団地	丸山地区会館	B
	塩釜	塩釜生活館	C
2月13日(水)	浦和・岩部	浦和生活館	A
	緑町	緑町母と子の家	B
	新栄町	新栄町集会所	C
2月14日(木)	三岳1	三岳母と子の家	A
	三岳2	三岳寿の家	B
	千軒	千軒活性化センター	C

1. 参加状況等

平成30年度の懇談会の参加状況は、延べ6日間、18会場で106人（男75人、女31人）、最大は11人、最少は2人、1会場平均は5.8人でした。

2. 意見等の総括

各会場での意見を分類しその件数と総括を、次のとおり整理しました。

全体 18会場（148件）

議会では、議会基本条例第7条第8項の規定に基づき、全議員出席のもと、町民に対する説明責任を果たし、情報を共有するため議会報告会を開催しています。

名称を「町民と議員との懇談会」とし、全町内会（18会場）を対象に議員が3班に分かれ開催する形を平成24年度から取り入れ、本年度で6回目となりました。

今回の懇談会では、議会だより第120号を資料として説明しましたが、がんばる地元企業等応援事業についての意見やアワビ陸上養殖事業への関心などの意見が出されました。また、除雪の苦労や、木古内自動車学校の閉鎖、道の駅に関するもの、岩部海岸クルーズなど、多岐にわたる意見が出され、町民との情報共有が図られたものと思います。

議会報告会は継続して実施して行くことが、町民への議会活動の理解を深める機会にもなり、肌で、町民に接することが重要であると感じました。

さらに、出された意見を議会として総括し、それぞれの議員活動に活かし、議会活動として連動させ、政策提言へと進展させる実践が必要です。

議会としては、今回出された意見の内容から、一般質問、予算審議へ繋げる、あるいは、所管事務調査を実施し政策提言へ連動するなど、合議制の議会として点から線へと活動を展開させ、町民の負託にこたえ、豊かなまちづくりのための不断の努力を続けます。

1. 議会関係 11会場（21件）

11会場から21件の意見が出されました。

議員定数・なり手不足対策で4件、懇談会開催で5件、議会の事務事業評価で2件、本会議を見ての感想などで4件、議会関連の条例で2件、議会だよりで1件、議会ホームページで1件、の意見がありました。

意見が多かった議員定数・なり手不足対策については、1名欠員となっているが運営に支障はないのか、後継者を育成しある程度の年齢になったらバトンタッチすることも必要などの意見や、人口減少している中で議員定数が10人でいいのかという意見もありました。

2. 産業関係 10会場（20件）

10会場から20件の意見が出されました。

アワビ陸上養殖で7件、がんばる地元企業等応援補助金で6件、その他の水産関係で6件、農業関係で1件の意見がありました。

アワビ陸上養殖に関しては、上手くいっているのか、大丈夫なのかと心配する意見が多くありました。また、がんばる地元企業等応援補助金については、財政的に心配する意見や、事業主でない人からは、税金を使ってほしくないとの意見もありました。

3. 観光関係 7会場（10件）

7会場から10件の意見が出されました。

岩部海岸クルーズ関係で6件、道の駅で4件の意見がありました。

岩部海岸クルーズでは、上手くいくのか心配、道の駅の今後の状況等の意見がありました。

4. 福祉関係 7会場（8件）

医療関係で6件、デマンドバスで2件でした。

ヤマユリクリニックで4件の意見がありました。デマンドバスの料金が低いとの意見もありました。

5. 衛生関係 2会場（2件）

2会場から温泉に関する2件の意見が出されました。

6. 道路関係 6会場（6件） 6会場から6件の意見が出されました。 国道の除雪で2件、道々の除雪で1件、町道整備工事で2件の意見がありました。
7. 河川関係 なし。
8. 防災関係 3会場（6件） 3会場から6件の意見が出されました。 一時避難場所3件、防災訓練で3件の意見がありました。
9. 教育関係 9会場（10件） 9会場から10件の意見が出されました。 小学校の統廃合で2件、福島商業高等学校の存続で4件の意見がありました。
10. 住宅関係 1会場（4件） 1会場から4件の意見が出されました。 公営住宅の完成見学会を実施してほしいとの意見がありました。
11. 水道関係 1会場（4件） 1会場から4件の意見が出されました。 水道の民営化や、簡易水道になったら料金が安くなるのかなどの意見があり、水道事業への理解を得るための周知活動が大切だと感じました。
12. 空家関係 5会場（5件） 5会場から5件の意見が出されました。 宮歌の空家解体に関して、町が解体すると全て町が解体してくれるものと勘違いする恐れがある、除却補助金の要件を緩和したらどうかとの意見がありました。
13. 会館関係 8会場（9件） 8会場から11件の意見が出されました。 町内会館の管理方法の見直し、各会館の修繕の要望がありました。
14. 町内会要望 4会場（10件） 4会場から10件の意見が出されました。 行政が行った町内会要望についての確認や、議会としても町内会要望を行政にしっかりと伝えてほしいとの要望がありました。
15. その他 13会場（33件） 13会場から34件の意見が出されました。 今回の懇談会では、その他に分類した意見が最も多く出されました。 木古内自動車学校の閉鎖で12件と最も多く、高校生の免許取得の大変さや、高齢者の免許更新について四町で対策を講じられないかとの意見がありました。 町の広報・ホームページで5件の意見があり、ホームページが更新されていない、町広報の配布物が多いため防災無線を活用して少なくできないかとの意見がありました。 除雪で5件の意見があり、どの地区も高齢化が進み、除雪に苦労している状況が実感できました。 第2青函トンネル構想で4件の意見がありました。 町民と議員との懇談会では、町政や議会に関する事ばかりでなく、生活に密着した様々なことについて、じっくり親しく話し合うことができたものと思います。

3. 地区別懇談会の開催状況

[凡例:○議会对応、◎町行政対応、☆説明済み]

月日	意見等
2/4 (月)	■日向1・2・3（日向生活館） 18:00～19:30 参加者：4人（男4人、女0人） 【産業関係】 ◎がんばる地元企業応援事業について、中身がよく分からない、初期の目的から効果がないように思う。本来であれば、施設の設備投資などへの助成だと思うが、車の購入ばかり目につく。

	☆町では、3年間、実施してみて検証しながら制度を変えていくとのことを回答。 【観光関係】 ☆道の駅について、町長は公約で道の駅は作らないと言っていたと思うが、何故、急にやることになったのか。 ☆道の駅を建てることを決定したのではなく、町長は、最初から、道の駅の在り方を検討すると公言していたので、誤解していると思う。 今は、2年間かけて検討委員会で検討している。 【道路関係】 ○国道の除雪について、日向2地区は、路側帯が狭く除雪車が通るたびに歩道に雪が堆積し、日に何回も除雪しなければならず、高齢者ばかりで困っている。議会としても町や開発への国道の除雪について要請してほしい。 【教育関係】 ◎福島商業高校の存続対策について、既に10年以上存続対策をしているが、入学者が10人を切っても存続対策をやる意味があるのか疑問だ。 【議会関係】 ○議会の事務事業評価について疑問がある。まちづくり推進会議で第三者評価をしたものを何故、議会が評価するのか。議会で評価するためのデータを探しても分からない。評価するためには、PDCA のための詳しいデータが必要だと思うが。 ☆議会評価は、町で評価した事務事業を議会に提出された資料に基づいて全議員が評価している。議員は、町の声を聴くこともあるでしょうし、議員が感じることもあるでしょうから全議員が総合的に判断し、説明を加えて、町に伝えている。 議会のチェック機能ということでは意義のあることだと思う。 ○人事院勧告について、過去に人事院勧告を無視して、下げることをしないで議会で修正議決したことがあるが、人事院勧告に逆らって議会で修正議決した根拠はあるのか疑問である。 地方公務員法第37条に違反するような行為があっても議会で修正議決したのは疑問だ。 ○懇談会の開催時期を考えてほしい。 町政懇談会の後に直ぐに議会の懇談会があり、人が集まらないように感じる。 【その他】 ◎私は、無知で情報は、町広報とか議会だよりから得ているが、疑問なことを聴きたい。毎月、国民年金の記事が出ているが、毎月同じような記事ばかりだ。未加入者が何人いるとか、払わないとどうなるかとか、生活保護者が何人いるとか、年金を貰えないと生活保護者になるんだから、町民は、そういう情報を知りたいと思っているので、特集号を出してほしい。
2 / 4 (月)	■吉田町・館古（役場健康回復室） 18:00～19:07 参加者：2人（男1人、女1人） 【議会関係】 ○昨年も指摘したが、議会だよりのページ構成が良くない。1ページに1枚は写真を入れるべき。また、写真の配置にも工夫が必要だと思う。 ◎議会のインターネット中継を見ているが、最近、議員からの質問に対して、説明員が即答できない場面が多く、勉強不足に見える。 【その他】 ◎町ホームページの情報が全然更新されていない。情報発信を進めてきた福島町なのにホームページを有効活用していないのは、勿体ないと思う。 ◎第2青函トンネル、車が通れるようになれば交流も増えると思うが、まずは東北の復興が終わらなければトンネルまで回らないと思っている。
2 / 4 (月)	■月崎1（浜中母と子の家） 18:00～19:15 参加者：5人（男1人、女4人） 【道路関係】 ◎国や道の事業（例えば、福島川改修事業）なども可能な範囲で情報提供してほしい。 【教育関係】 ◎講座受講者が会を作り、しめなわづくりやわら草履づくりなどをしているが、福祉センターの会場使用料を減免できないか？ ☆文化団体協議会に加盟するよう助言した。 【会館関係】 ◎広間の床がブヨブヨして沈む箇所がある。 ◎千軒の活性化センターでは、センサー付きの電気がありびっくりした。この会館にも付けて欲しい。 ☆平成 32 年度が改修計画予定であり、事業実施前に町に対して町内会の要望をしっかりと伝えるよう助言した。 【町内会要望】 ◎要望に対して協議のうえ対応いただき、解決の方向に向かっている。 【議会関係】 ○今回の懇談会も地区限定の防災無線を活用してくれれば、もう少し参加者が増えたと思う。

2 / 5 (火)	■松浦・吉野（吉野母と子の家） 18:00～19:10 参加者：3人（男2人、女1人） 【産業関係】 ◎陸上アワビは順調なのか。松前漬などに入れたらいいと思うが。 ◎町長が陸上アワビ施設の横にある加工施設は、冷凍設備を完備しているので、誰でもいつでも使用していいと言っていたが機会があったら使わせてもらう。 ◎がんばる地元企業応援助成金について、町内で購入したいが、品物を置いている店がない。 【観光関係】 ◎道の駅については、他の町の道の駅は、大きくて町の顔となって町に活気があるように思える。福島も他町の道の駅のように大きい駐車場と物販を中心にしたらいいと思う。 【町内会要望】 ◎町内会要望で出している治山工事個所の立木の伐採について、人事異動で担当者が変わるたびに現地の確認で引継ぎをしているが、それっきりで一向に改善されないのでは何かしてほしい。 ◎今回は、要望を出していないが、与平澤の川の氾濫を何とかしてほしい。 国道を横断する管の口が狭く、松浦峠線が6月から10月の台風時期に道路が川のようになって伐採後の木の根が川に流入し管の口を塞いで川の氾濫の原因になっている。 ◎光回線については、年末にかけて希望者が開設できた。
2 / 5 (火)	■館崎1・2・3（吉岡総合センター） 18:00～19:30 参加者：5人（男5人、女0人） 【産業関係】 ◎アワビの陸上養殖は大丈夫なのか。施設を見たが色々問題がある心配だ。金を掛けた以上成功してほしい。 ◎海水浴場、昆布の干場として使ったら良いのではないかと声がある。駐車場が空いているので。 【観光関係】 ◎岩部地区の再開発について一般質問しているが、沖から見る紅葉は凄く綺麗なのでPRすべき。 【道路関係】 ◎5次計画の変更事業、町道吉野館崎線整備事業の工事場所はどの辺になるのか。 【教育関係】 ◎町民プールの利用者の内訳は？多いのは子ども？大人？ 【議会関係】 ◎議員定数、人口減だが次期も10人体制でやるのか。 ◎議員の定年制は考えていないのか。若い人の為にも兼業を許す形で何か手当していく必要があるのではないのか。 【水道関係】 ◎美山浄水場は何処にあるのか。 ◎水道の民営化がニュースになっているが、福島町はどうか。 ◎人口が減少しているので負担が大きくなるのは解るが、簡易水道になると水道料金は安くなるのか。 ◎水道管、老朽化している物が多いのか。 【その他】 ◎木古内自動車学校の廃校問題、大変な事だと思う。高校生の就職にも影響があるし、高齢者更新の受講も函館に行くとなると一泊しなければならないなど大変になる。素人考えだが、自動車学校の施設をそのまま四町で買い取って、函館自動車学校等から定期的に来てもらうような考えはないのか。
2 / 5 (火)	■宮歌生活館（豊浜・宮歌） 18:00～19:15 参加者：11人（男10人、女1人） 【産業関係】 ◎第2青函トンネル期成会の話聞いた。人口増や空き家対策など、「夢物語」かもしれないが期待する。2/7の講演会には是非行きたい。 【福祉関係】 ◎デマンドバス利用料300円について、「高い」という意見と「妥当」という両論が出た。 ☆「高い」という意見は聞くが、利害関係者等の協議会で検証・協議し国道の路線バスの利用の関係も利用料決定の要素としてある旨情報提供した。 【教育関係】 ◎小学校の統合問題はどうか？ ☆現在のルールでは、吉小児童が10人を切った段階で、教委が動き出し、保護者全員の同意があった場合に、統合に動くルールである旨情報提供した。 ◎保護者の意思が統一できないのはわかるが、行政がしっかり方針を出すべきとの意見があった。 【空家対策】 ◎宮歌の火災空き家の解体の話聞いたが、町内でかなりの件数がある。全てを今回のように対応していたのでは、町が持たないのではないのか？ ☆議会としても、個人財産の問題であり、予算は所有者の了承が前提として議決したが、今回所有者との連絡がついたとのことで進むと思われる。しかし、今後の代執行等については更に議論していく必要がある。

	【防災関係】 ◎一時避難場所等の現状と変更した方が良い旨の意見があった。 ☆町で H31 に防災計画の見直しを予定している旨を説明した。(2/8 総務委員会も) ◎地域で高台の小屋を避難施設とした場合、避難備蓄用品を町で提供できるか質問があった。
2 / 6 (水)	■吉岡 1・2・3 (吉岡総合センター) 18:00～19:03 参加者：6 人 (男 6 人、女 0 人) 【産業関係】 ◎蝦夷ゾアワビの養殖は、順調なのか。 前に新年交礼会でアワビご飯が出ていたが今年はなかった。 ◎椎茸栽培も一時奨励する声を聞いたが、今はどうなのか、順調なような声を聞かない、蝦夷アワビも同じようにならないければ良いが。 ◎サケマス養殖場について、稼働が仔魚の放流までだと思うが、それ以外の期間は、休止しているのか。他の利用方法はないのか。 【観光関係】 ◎道の駅の状況はどうなっているのか。 ☆町では、道の駅検討委員会を組織して2年間かけて方向性を決定する方針でいる。 【道路関係】 ◎道々吉岡停車場線の流雪溝については、各戸で歩道の除雪をする約束で設置した経緯があるが、高齢化が進み歩道の除雪がままならない状況となっているので、車道を除雪した雪が堆積することがあるので、時々でも歩道の除雪をしてほしい。 【議会関係】 ◎夜間議会の一般質問は、開催案内と同時に配布されているが、6月、9月、12月の一般質問通告が議会ホームページに載っていないような気がしたが。 ☆議会当日の朝にホームページに掲載しています。 ◎議会参画奨励条例を制定するとあるが、他に例がないと思うし、大変珍しいと思うが内容を知りたい。 ☆議会として町民の声を多く聞く機会を設けるということで、一つの議題ごとに、町の説明員と議員との意見交換後に参画者の発言の場を設けるということです。 ◎懇談会に初めて出席したが、議員の生の声が聞けて良かった、高橋知事も見学に来たと聞いているアワビ陸上養殖は、話題性もあり成功してほしい。 【町内会要望】 ◎町内会要望に提出してはいないが、吉岡川の河床浚渫が北海道の新年度予算で実施することが決定した。 【その他】 ◎狸が頻繁に出没するので駆除してほしい。 ◎木古内自動車学校の廃校が新聞に掲載されていたが、議会への報告はあったのか。 運転免許の高齢者講習が木古内で出来なくなると函館まで行くことになり、2日間の講習なので冬期間だと大変である。四町による第三セクターで講習所を開設して高齢者講習ができないものか。 ☆町が財政支援をして存続するという内容の話は、早い段階で町からあったが、新聞に掲載された内容については、議会への報告はなかった。
2 / 6 (水)	■白符 (白符ふれあいセンター) 18:00～19:10 参加者：2 人 (男 2 人) 【産業関係】 ◎がんばる補助金が有効活用されているのは良いが、財政は大丈夫なのか。 ◎水産業は町の基幹産業、白符は後継者も含め頑張っている。 【教育関係】 ◎高校の存続問題、特色のある教育が出来れば良いと思うが、どういったものが良いかは自分でも判断できない。 【町内会要望】 ◎白符神明前道路の側溝、前から要望していたが、今回の回答で5次計の後期に登載された。以前、役場から土地の承諾書を貰って下さいと言われ、関係者全員から貰って提出しているので、もっと早く実施してもらえるものと思っていたのに、なぜ後期計画に登載したのか理由の説明もないのはおかしいのではないかと。早く実施してほしい。(常任委員会で現地を確認します。) 【議会関係】 ◎今回の懇談会もそうだが、町が行う会議等への出席者が少ないのは、開催する時間等に原因があると思う。また、町民の関心も低い。 【空家対策】 ◎危険家屋(宮歌)の撤去、色々な人から景観が悪いと言われていたので撤去が決まって安心した。

2 / 6 (水))	■上町・本町・川原町（役場 健康回復室） 18:00～19:20 参加者：5人（男5人） 【産業関係】 ◎がんばる地元企業助成金は、制度的には良いと思うが、助成金利用者が「使わなければ損」などと、聞いている人の捉え方では「税金の無駄遣い」に聞こえる場面が多々ある。また、受付に当たっては専門部会的な審査が必要ではないか？ ☆行政側からも住民側からの苦情等に対応して、利用者に対して、適切な利用の通知を行っていること、また、恒久的な補助制度であるが、3年経過後に見直しを検討する旨情報提供した。 【会館関係】 ◎会館ではないが、福島漁村センターの管理状況を見ると貸しっ放しの印象を受ける。例えば、大学生に貸した後、物が無くなった。お祭りの行列利用後のごみ処理など。 【議会関係】 ◎昨年5月から議員1名減だが、運営に支障ないか？ ☆10名の定数にした根拠として、両常任委員会を維持していく必要最低限としていた。欠員は大変だが、今年の選挙までこの体制。 【空き家対策】 ◎空き家の解体を行政が手を付けだすと、「ほっといても行政が公費でやってくれる。」旨の勘違いが出てくる。もう少し、除却補助金の要件を緩和して、どんどん解体が進むように誘導してはどうか？ 【防災関係】 ◎2年前の台風での福島川増水時の河川沿いの避難を呼びかける作業は大変だった。増水時の避難など特定した防災訓練など、防災訓練に工夫を望む。 ◎防災無線の戸別受信機の電池交換等の件、できれば高齢者等には見守り的に、自宅訪問し確認などの手法を取ってほしい。
2 / 8 (金)	■月崎2（月崎母と子の家） 18:00～19:15 参加者：11人（男5人、女6人） 【産業関係】 ◎アワビ陸上養殖は、上手いきそうなのか。 アワビの活用方法は、決まったのか、炊き込みご飯、アワビステーキや蒸しアワビの珍味などいろいろあると思うが。 【福祉関係】 ◎やまゆりクリニックの先生は、公務員なのか。 ☆公務員ではない。委託をしている。 【公営住宅関係】 ◎公営住宅の家賃が高くて退去する人がいると聞いているが、安くならないのか。 ◎丸山団地の新築の住宅は、空いているの。 完成した時に町民を対象に見学会をやってほしい。 【観光関係】 ◎岩部クルーズはどうなのか。上手いきそうなのか。 【衛生関係】 ◎温泉の管理がまちづくり工房になったら掃除が行き届いてないとの声がある。 【福祉関係】 ◎デマンドバスの運賃が高い。距離によって運賃を変えたらどうかと思う。 【議会関係】 ◎夜間議会の効果はあるのか。出席者はどうか。 ☆始めたことは、それなりに傍聴者はいたが、最近役場ロビーでのモニター視聴やインターネットライブ配信を行っているので、傍聴者は少なくなっている。 ◎本会議開始の時間を早くしたらどうか。10時からとかではなく、9時からにしたらどうか。 ☆一応、聞いておきます。 【その他】 ◎公営住宅の見学会の話が出たが、町の施設の町内ツアー見学会を行ってほしい。アワビ陸上施設など ☆町内会長を通して町に申し込めばできると思う。
2 / 8 (金)	■丸山団地（丸山地区会館） 18:00～19:17 参加者：7人（男5人、女2人） 【産業関係】 ◎森林組合の問題、解決したのか。 【福祉関係】 ◎ヤマユリクリニック、先生に怒られたという噂もあり、怖いイメージがある。 ◎福島町の人は知内町の病院に通っている人が多い。 ◎国保税、安くなったような気がする。 【教育関係】 ◎子供への虐待がニュースになっているが、福島町ではそのような事案はあるのか。

	【会館関係】 ◎丸山地区会館はこの地区で集まれる唯一の場所なので使える限りは使って行きたい。利用状況は少ないが、出来るだけ延命させてもらいたい。 【その他】 ◎丸山団地、まだ建てる。 ◎木古内自動車学校の閉鎖、困ったこと。
2 / 8 (金)	■塩釜（塩釜生活館） 18:00～18:50 参加者：3人（男2人、女1人） 【会館関係】 ◎町内会館の管理を見直すとは？ ☆町で全ての費用負担をし、管理は今までどおり町内会にお願いする。 【議会関係】 ◎議会だよりに議会の諮問機関があると書いている。初めて知った。 ☆議会基本条例制定後、諮問会議を設置した。 【空家対策】 ◎町内会で1件崩壊し、所有者家族と連絡がつかない。 【防災関係】 ◎防災訓練は、どういう災害を想定しているのか？避難者にその想定が伝わってこない。 ◎津波が来たら、塩釜神社まで上がるが、年寄りが多いから役割分担を決めておかなければならない。
2 / 1 3 (水)	■岩部・浦和（浦和生活館） 18:00～19:17 参加者：4人（男4人） 【産業関係】 ◎がんばる地元企業応援助成金の総事業費はどれくらいになっているのか。がんばる助成金を使っていない人、関係ない人には、何だと思ふ人が多いと思う。 ☆11月末で146,765千円の助成見込みとなっている。 ◎アワビ陸上養殖は、事業として成り立つのか。 ◎漁船漁業は衰退の一途だが、昆布養殖を新規にやる人が増えている。 【町内会要望】 ◎町内会要望で出しているが、家の裏の杉が倒れそうになっている。所有者が既に浦和に居なくなって所有者不明になっているので、治山対策を拡大して伐採をお願いしているが、浦和ばかりでなく松浦、吉野でも同じようなことがあると聞いているので、全町的に対策をしたらどうか。 ◎治山工事の細かい説明が一切なく、地権者の承諾を取るだけなので、年次計画でどう整備するか町内会に説明してほしい。 ◎治山工事で側溝等を整備しているが、工事後の維持管理がなっていない。 【観光関係】 ◎岩部クルーズは、事業として成り立つのか。 船が大きくなって青の洞窟に入れるか不安だとの声がある。 ◎まちづくり工房は、人を募集したのか。 ☆岩部クルーズは、やってみないと分からないというのが実感だが、試験運行では、好評だったようなので、応援したいと思っている。 【教育関係】 ◎福島高校の存続対策をやっているが、函館の高校に行っている子と不公平を感じる。函館市内に町で寄宿舎などを建てて経済的に助成したらどうか。 【その他】 ◎板橋の沢の除雪をお願いしたい。沢全体の地権者が一人で、土地を借りて家を建てて集落を形成しているため、道路が私有地となっており、町道の除雪の対象になっていない。道々の除雪時に沢の入り口をついでに除雪してほしいと、建設課にお願いしたが、沢全体が高齢が進んで80歳以上で除雪がままならない。 ◎漁港の除雪もお願いしているが、一向に対応してくれない。 ◎75歳になれば免許の高齢者講習を受けなければならないが、免許返上となったら地域で生活ができないので、町は実態を把握して、公共交通機関（バス）の運行をお願いしたい。デマンドバスがあるが予約しないとないので、不便だ。 ◎千軒に水道を通すために町全体で負担しているのに、浦和地区には、公共交通機関もないし納税の不公平を感じる。浦和は何の恩恵も受けてない。早い時期に小学校も廃校となった。
2 / 1 3 (水)	■緑町（緑町母と子の家） 18:00～19:25 参加者：4人（男3人、女1人） 【福祉関係】 ◎町立病院、医師の評判が良くなかったが、実際に掛かってみて対応は良かった。また、診療科目に小児科があることを町民は知らないのではないかと思う、PRしてはどうか。 【衛生関係】

	◎5次計に吉岡温泉が無いが、どうなったのか。温泉に行っても上(天井)を見られない。風呂の規模等も考えて、なんとか良い方向にいつてほしい。 【会館関係】 ◎会館の備品(ストーブ)が故障している。将来的に解体であっても使用しているうちは修繕等の対応をしてほしい。 【その他】 ◎木古内自動車学校の廃業、学校側から事前に申し出等あったのか。なくなると高齢者の受講が大変になる。 ◎高齢者も困るが、高校生も大変になる。 ◎松前線廃止の時、多くの主婦が免許を取りに行った。その人たちがちょうど高齢者の対象になっている。 ◎福島町で免許を返納した人はいるのか。返納しても何もメリットがない、デマンドバス等あるが、用事が町内で完結すれば良いが病院等でそうはならない。 ◎第2青函トンネル、実現性はあるのか。ニュースで国の借金が1千兆円を超えたようなことを言っていたので、トンネル工事をやろうとすると、また借金が増えることになるのではないかと。
2 / 1 3 (水)	■新栄町（新栄町集会所） 18:00～19:45 参加者：8人（男5人、女3人） 【道路関係】 ◎月崎幹線工事及び歩道拡幅工事に当たって、住民への説明がなかった。着工前に説明会を実施してほしかった。取り付け道路の狭隘さやガードレールの問題など不満な点がある。(参加8名全員が訴えていた。会長は欠席) ☆建設課に上記内容を伝えた。 【教育関係】 ◎子供たちの数が減っている中で、高校存続は「特色ある魅力ある高校づくり」が必要である。道立高校という点はあるが、例えば生徒が株式会社を作り、空き家等を利用し、商品の販売をするなど思い切ったことをしてはどうか？商業高校として、実学になり社会に出てからの優位性にもつながるのではないかと？資本金はふるさと応援基金を活用する手もある。 【議会関係】 ◎今後もこの懇談会を続けるのか？ ☆基本条例に位置付けられており、継続する。 ◎なり手不足対策として、方法論は別にして助成枠を検討してはどうか？また、後継者を育成しある程度の年齢になったらバトンタッチすることも必要。 【その他】 木古内自動車学校問題 ◎経営存続は無理との新聞報道だが、高齢者や高校生に対する何らかの支援が必要。(例;個人経営の方に福島での講習を依頼するなど) 函館バス車両更新補助 ◎議会だよりに、補助は一度きりとの認識と書いているが、どういうことか？ ☆国鉄廃止時のバス転換時一度きりという意味合い。しかし、地元自治体が協議の場に立たなければ事業者の撤退で地域住民の足が失われることが懸念される。協議の中で、バスの小型化など事業者の経営上できる範囲での協議を望んでいる。
2 / 1 4 (木)	■三岳1（三岳母の子の家） 17:50～18:50 参加者：3人（男2人、女1人） 【会館関係】 ◎新築の町内会館は、水洗なのか。三岳の会館は、平成33年度に改修予定となっているが、トイレを水洗にしてほしいと思っている。 ☆町と改修について十分話し合った方が良いと思う。 【議会関係】 ◎文書質問とは、なんですか。 ☆一般質問は、定例に再開する本会議ごとに年4回できますが、文書質問は、いつでも町に対して文書により質問ができます。町は、文書質問があったら10日以内に質問者に回答しなければならないこととなっている。 【その他】 ◎木古内自動車学校が閉校になると新聞に出ていたが、高校生が函館まで通うのは大変だと思う。
2 / 1 4 (木)	■三岳2（三岳寿の家） 18:00～19:09 参加者：9人（男4人、女5人） 【福祉関係】 ◎ヤマユリクリニックは送迎バスを走らせていないよね。 【道路関係】 ◎国道の除雪、ひっきりなしに来る。来るのは良いんだがもう少し間をおいてもらわないと、脇に寄った雪を片付けたと思えばまた来るといった感じで大変だ。 ◎除雪した雪を堆積する場所の入口に柱(ポール)があり危ない。反対側に電柱もあり何とかならない

	かと言われている。電柱側に柱を寄せてもらえると助かる。 ☆町の企画の担当に言いますので、一緒に現場を見てもらう。 【会館関係】 ◎先日、宮歌・豊浜町内会館を見学してきた、今ある祭壇が入りそうなので安心している。 【その他】 ◎第2青函トンネルは時間がかかると思う。道路も木古内で止まったことを考えると、陸上でもこうなら、海中ならもっとかかる、事故もあると思う。 ◎NTT柱等は移動できるのか。道路等には関係無いが個人の土地にあり、除雪機を動かすとき狭くてぶつける、動かしてもらえれば機械が入っていける。 ◎個人(自分)の木が大きくなって台風とかで家に倒れてきそうな場合、伐ってもらえないのか。 ◎広報等の配布物が多い。前もって予定が決まっているのであれば、月初めに纏めてもらえると助かる。回る人も高齢化しており、何回も回るのは大変なので。 ◎防災無線を活用して配布物を減らしてもらいたい。他町では防災無線で色々な案内をしているというのであれば、良いところは取り入れてもらいたい。 ◎戸別受信機はいいものだ。 ◎家の裏に川があるのだが、川に堆積した雪に塩カルを撒いても良いものだろうか。駄目なのであれば、消防で放水して融かしてもらえないだろうか。春先になると雪が解けて川が溢れるので。
2 / 1 4 (木)	■千軒（千軒活性化センター） 18:00～19:30 参加者：11人（男5人、女5人） 【産業関係】 ◎がんばる地元企業助成事業は、財政がひっ迫していると言いながら、財政的にもつのか心配している。来る者は拒まずで、受け付けているようだが、「少し錆びたから、助成事業を使えば半分で買えるから買った」などの話も聞く。事業主でない人から言わせれば、税金をそんな形では使ってほしくないと思うのが本音。 ◎陸上アワビ養殖で斃死させたことを聞いたが、管理の不手際であり、損害額も大きいのではないかと？ ※議会での委員会調査状況を説明した。 【観光関係】 ◎青の洞窟クルーズ船関係で、ツヅラ沢に上陸するパターンなどバリエーションを持たせてはどうか？ ☆今年、本格運行に入る年であり、順調に始動した後に課題として提起してはどうか？ 【教育関係】 ◎住川の会社有地のクリ畑で、毎年福島幼稚園の園児がクリ拾いをしている。クマの糞が大量にあちこちにある。電気柵を張れば金額的にはどのくらいか？補助金はあるのか？ ☆電気柵や補助の関係は農業の部分では聞いたことがあり、産業課に問い合わせれば答えは出ると思う。しかし、あくまで、所有者の意向が大事であり、また、幼稚園園児を守るのであれば教育委員会の課題。電気柵よりもハンターを護衛に付けた方が安上がりである。 【会館関係】 ◎町内会館の管理方法の見直しとはどういうことか？ ☆千軒については、活性化センターであり現在でも町管理になっていることを伝えた。 【その他】 空き家対策 ◎近所に危険空家がある。地元所有者がいらない。どうすればよいのか？ ☆行政側でも、連絡を取っているがいろいろなケースがあることを説明した。 ◎財政健全化のあたりの退職不補充で職員削減をした結果、歪な職員年齢構成になっており、心配である。 ☆当時は、全国的な流れの中で、町民の声もその方向であった。苦肉の策で、臨時職員の採用、外部への管理委託などの方策で対応。このたびの所管事務調査では、町長も歪な年齢構成や職員数の関係などを課題としてとらえ、今後も役場運営できる形にしたいと説明している。